彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, November 2025

課長：佐藤 裕久　H. Sato
幹事：下元 繁男　S. Shimomoto

○ 11月の状況（佐藤）

彗星課メーリングリスト(oaa-comet ML、以下同じ）などに次のような報告があった。

☆ C/2022 N2 (PANSTARRS) (写真a)

高橋俊幸氏(栗原:D95)は、11 月 11.47 日、16.48 日、29.42 日 UT、0.25-m f/4.2 反射＋CCD(以下同じ)でそれぞれ全光度を 13.6 等と観測した。集光した 1.8～2.5'のコマがあり、16 日と 29 日はそれぞれ p.a. 254° に 10'、255° に 8'の尾があるとのこと。

私(須賀川:Q23)は、11 月 14.57 日、20.59 日、29.50 日 UT、0.25-m f/4 反射＋CCD(以下同じ)でそれぞれ全光度を 13.6 等、13.7 等、13.7 等と測定した。集光した 0.9～1.0'のコマと p.a. 261～254° に 0.9～6.4'のかすかな尾が見えた。

吉見政義氏(福知山:903)は、11 月 20.64 日 UT、0.25-m f/6.3 Schmidt-Cassegrain ＋CCD(以下同じ)で全光度を 13.4 等と観測したとのこと。

門田健一氏(上尾:349)は、11 月 30.48 日 UT、0.25-m f/5.0 反射+CCD(以下同じ)で全光度を 13.6 等と観測したとのこと。

11 月中、国内で位置観測したのは他に、安部裕史氏(島根県松江市八束:367)、井狩康一氏(滋賀県守山市:900)、杉山行浩氏(神奈川県平塚市:D88)、山口義昭氏(大阪府堺市:Q02)、嶋邦博氏(五藤天文台,八ヶ岳:Q14)、野原秀憲氏(栃木県宇都宮市:Q21)であった。

☆ C/2025 A6 (Lemmon) (写真b)

門田氏は、11 月 10.36 日、15.36 日、17.35 日、19.35 日 UT、それぞれ全光度を 4.6 等、5.1 等、5.3 等、5.8 等と観測したとのこと。

11 月中、国内で位置観測したのは他に、井狩氏(守山:900)、嶋氏(五藤,八ヶ岳:Q14)、野原氏(南宇都宮:Q21)であった。

☆ C/2025 K1 (ATLAS)

高橋氏は、11 月 4.83 日、12.78 日、16.76 日 UT、それぞれ全光度を 9.4 等、9.4 等、9.6 等と観測した。集光した 5.2～5.3'のコマがあり、p.a. 293～297° に 10'、255° に 25～35'の尾があるとのこと。 4 日は逆三角形のコマが印象的だが、この時点では分裂核(B 核)を確認できなかった。16 日は C 核を 12.8 等と観測したとのこと。

吉見氏は、11 月 6.78 日、20.74 日 UT、それぞれ全光度を 9.6 等、9.0 等と観測したとのこと。

門田氏は、11 月 10.79 日 UT、全光度を 9.4 等と観測したとのこと。

私は、11 月 19.74 日 UT、主核、B 核、C

核のそれぞれR光度を13.0等、12.8等、12.6等と測定した。集光した2.0'のコマとp.a.291°に29'を超える尾が見えた。3個の核に分かれているのが確認できた。2個の分裂核を加えたコマの全光度は10.4等であった。

11月中、国内で位置観測したのは他に、山口義昭氏(西はりま天文台付近移動観測:247)、安部氏(八束:367)、織部隆明氏(佐治天文台:867)、井狩氏(守山:900)、吉本勝巳氏(山口県平生町:P87)、嶋氏(五藤,八ヶ岳:Q14)、野原氏(南宇都宮:Q21)であった。

11月8日、筆者から「どうやらC/2025 V1(Borisov)は崩壊しているようです。だいぶ崩れて核がハッキリしていません。C/2025 K1 (ATLAS)のコマの形も怪しい。撞木(シュモク)や逆三角形にも見えます」とコメントした。

11日、筆者から「この彗星は分裂したようです。11月10.19日UT、フランスのFrancois Kugelが観測しました。また、イタリアのAdriano ValvasoriもU94で捉えました」とコメントした。

16日、織部氏(佐治:867)から「今朝、C/2025 K1 (ATLAS) を観測すると、分裂核がさらに増えていました。まぁハッブル宇宙望遠鏡で彗星核がバラバラになった様子がとらえられていますので、そんなことはもうわかっているという状況ですが、ひとまず今回の核をC核、以前からの分裂核をB核として、位置を測定してみました」とのコメントと位置観測報告があった。

17日、筆者から「最初に見えていたB核は暗くなり、現在はその後見え出したC核の方が明るく見えているようです」とコメントした。

☆ C/2025 R2 (SWAN)

門田氏は、11月10.45日、26.36日UT、それぞれ全光度を9.4等、11.0等と観測したとのこと。

高橋氏は、11月11.37日、16.40日UT、それぞれ全光度を9.8等、10.4等と観測した。それぞれ集光した7.5'のコマがあり、11日はp.a.75°に13.3'のかすかな尾があるとのこと。

私は、11月14.47日、20.54日UT、それぞれ全光度を9.3等、11.2等と測定した。中央集光した5.2〜6.2'のコマとp.a.74°に5.4〜5.8'の尾と、14日はp.a.234°には5'.4のアンチ・テイルが見えた。

吉見氏は、11月20.60日、24.51日、29.54日UT、それぞれ全光度を10.6等、10.8等、11.6等と観測したとのこと。

11月中、国内で位置観測したのは他に、安部氏(八束:367)、井狩氏(守山:900)、杉山氏(平塚:D88)、吉本氏(平生:P87)、嶋氏(五藤,八ヶ岳:Q14)、野原氏(南宇都宮:Q21)であった。

☆ 240P/NEAT (写真c)

高橋氏は、11月12.50日、29.49日UT、それぞれ全光度を12.3等、11.5等、B核を15.8等、14.1等と観測した。本体は集光した3.4〜5.2'のコマと12日はp.a. およそ215-253°にわたって5'.8の広い尾が、29日はp.a.239°に17'の尾があるとのこと。

私は、11月26.54日、29.54日UT、それ

ぞれ全光度を 12.3 等、12.2 等、B 核を 14.6 等と測定した。強く集光した 3.0～3.3’のコマと p.a.241～243° に 19.0～26.5’の広い尾が、B 核は 1.0’のコマが見えた。

吉見氏は、11 月 15.62 日、24.53 日 UT、全光度を 11.1 等、11.5 等と B 核を 15.7 等、14.7 等と観測したとのこと。

11 月中、国内で位置観測したのは他に、安部氏(八束:367)、井狩氏(守山:900)、吉本氏(平生:P87)、山口義昭氏(大阪府堺市:Q02)、嶋氏(五藤,八ヶ岳:Q14)、野原氏(南宇都宮:Q21)であった。

25 日、中村祐二氏(三重県亀山市)は、11 月 23.57 日 UT、自宅観測所で、240P-B が 14.8 等に増光しているのを観測したとの報告と画像紹介があった。

☆ 3I/ATLAS (写真 d)

門田氏は、11 月 3.84 日、29.77 日 UT、それぞれ全光度を 9.6 等、10.1 等と観測したとのこと。

高橋氏は、11 月 12.84 日、14.83 日、16.82 日、29.83 日 UT、それぞれ全光度を 9.9 等、10.1 等、10.0 等、11.1 等と観測した。集光した 4.4～5.3’のコマがあるとのこと。

吉見氏は、11 月 20.78 日 UT、全光度を 10.2 等と観測したとのこと。

11 月中、国内で位置観測したのは他に、安部氏(八束:367)、井狩氏(守山:900)、杉山氏(平塚:D88)、吉本氏(平生:P87)、嶋氏(五藤,八ヶ岳:Q14)、野原氏(南宇都宮:Q21)であった。

○ 11 月に発見を確認した彗星

符号、名前、発見(UT)、光度等は次のとおり。詳細は MPEC、CBET を参照。彗星名の後につけた MPC コードは、日本人の確認者のコードで、Q62-1、X07-0 佐藤英貴氏、D88 杉山行浩氏、Q23 佐藤裕久、P87 吉本勝己氏である。*は恒星状。

① P/2025 U1 (Hogan) Q62-1
発見: Joshua K. Hogan (G96)
2025 年 10 月 30.5 日、20.6 等
(MPEC 2025-V41、CBET 5630)

② C/2025 V1 (Borisov) D88、Q23、P87、X07-0
発見: Gennadii V. Borisov (L51)
2025 年 11 月 2.1 日、12.0 等
(MPEC 2025-V40、CBET 5631)

③ P/2015 TO_{19} = 2025 S4 (Lemmon-PANSTARRS)
検出: John Maikner (W62)
2025 年 9 月 19.3 日、19.9 等
(MPEC 2025-V39、CBET 5633)

④ P/2025 UX_{109} (Ye)
発見: Quan-Zhi Ye (I41)
2025 年 10 月 20.5 日、19.6 等
(MPEC 2025-W42、CBET 5638)

⑤ C/2025 V2 (Rankin) X07-0*
発見: David Rankin (G96)
2025 年 11 月 2.5 日、19.8 等
(MPEC 2025-W57、CBET 5639)

⑥ C/2025 W1 (Sankovich) X07-0
発見: Anatoly V. Sankovich (X19)
2025 年 11 月 20.2 日、19.8 等
(MPEC 2025-X33、CBET 5641)

○ 主な光度等観測報告

2025	UT	m1	Dia	DC	Tail	p.a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
C/2022 N2 (PANSTARRS) (写真 a)											
Nov.	14.62	13.7	1.2′	-	8.5′	255°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	16.58	13.7	1.2	-	8.5	255	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
C/2025 A6 (Lemmon) (写真 b)											
Nov.	1.38	4.3	7′	7/	1.0°	50°	-	-	10×66-mmR	吉田誠一	③❶
	2.38	4.4	6	7/	0.6	55	-	-	10×70-mmR	吉田誠一	④❷
	14.36	5.2	6.0	-	>15′	75	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑤
	15.36	5.6	6.0	-	>15	80	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑤
	16.36	5.2	5.5	-	>15	80	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑤
	19.36	6.2	5.5	-	>15	85	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑤
C/2025 K1 (ATLAS)											
Nov.	2.82	10.2	2.4′	-	11.0′	296°	-	-	EOS6D**	張替憲	⑥⑦⑧
	14.77	7.3	2.0	-	>20.0	300	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑤
	15.81	7.5	2.0	-	>20.0	290	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑤
	16.82	8.0	2.0	-	>20.0	295	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑤
	18.86	7.2	2.0	-	>20.0	290	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑤
	19.79	8.3	2.5	-	>20.0	290	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑤
	20.75	7.2	3.0	-	>20.0	290	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑤
	20.79	9.8	2.5	3	9	295	-	-	36×40-cmL	吉田誠一	⑨❸
	21.75	7.2	3.0	-	>20.0	285	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑤
	22.72	5.4	3.0	-	>20.0	280	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑤
C/2025 R2 (SWAN)											
Nov.	2.41	8.1	3′	3	-	-	-	-	36×40-cmL	吉田誠一	⑥❹
	14.48	11.2	6.0	-	>9.5′	75°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
					>6.0	250					
	15.47	10.3	6.0	-	>10.5	75	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
					>7.0	230					
	16.45	10.1	6.0	-	>12.0	75	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
					>7.0	235					
	18.61	11.0	6.0	-	>10.0	75	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
					>6.0	235					
	19.57	10.9	5.0	-	>10.0	70	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
					>6.0	235					
	20.44	10.9	5.0	-	>10.0	65	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
					>8.0	230					
	21.54	11.2	5.0	-	>10.0	70	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
					>8.0	230					

2025	UT	ml	Dia	DC	Tail	p.a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
C/2025 T1 (ATLAS)											
Nov.	1.75	10.7	3.3′	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	⑥⑦⑩
	2.42	10.4	2.0	2	-	-	-	-	114×40-cmL	吉田誠一	⑥❺
	15.42	9.4	6.0	-	>10.0′	20°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑪
	16.38	8.6	6.0	-	>10.0	20	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑪
	17.40	9.6	>4.0	-	-	-	2/5	2/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑫
	19.39	9.3	5.0	-	>4.0	25	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑪
	20.39	8.8	5.0	-	>3.0	25	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑪
	22.40	8.6	5.0	-	>5.0	25	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑪
C/2025 V1 (Borisov)											
Nov.	2.81	11.0	1.8′	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	⑥⑬⑭
24P/Schaumasse											
Nov.	16.79	13.6	2.5′	-	-	-	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	18.72	12.8	3.0	-	1.0′	285°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	20.80	12.0	1.7	1	-	-	-	-	114×40-cmL	吉田誠一	⑨❻
	20.80	12.7	3.5	-	2.0	290	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	21.71	12.1	3.5	-	2.0	290	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	26.75	12.1	2.6	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	⑥⑦⑮
	30.76	11.6	3.3	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	⑥⑦⑮
210P/Christensen											
Nov.	26.82	10.9	2.5′	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	⑥⑬⑯⑰
	30.84	10.8	1.8	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	⑥⑦⑰
235P/LINEAR											
Nov.	20.84	[13.5	! 0.6′	-	-	-	-	-	257×40-cmL	吉田誠一	⑨❼
240P/NEAT (写真 c)											
Nov.	1.74	12.9	1.5′	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	⑥⑦⑱
	14.65	12.5	1.6	-	>10.5′	240°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	15.76	12.5	1.6	-	>10.5	240	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	16.59	11.8	1.6	-	>12.0	240	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	18.63	11.8	1.6	-	>12.0	240	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	18.75	12.4	1.7	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	⑥⑦⑲
	19.77	11.0	1.6	-	>12.0	240	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	20.62	11.6	1.6	-	>12.0	240	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	21.66	12.6	1.6	-	>12.0	240	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	21.75	12.7	1.4	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	⑥⑦⑲
	22.64	11.0	1.6	-	>12.0	240	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	26.74	12.0	1.5	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	⑥⑦⑲
	30.74	12.6	1.3	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	⑥⑦⑲
240P-B/NEAT (写真 c)											
Nov.	21.66	12.6	0.25′	-	0.1′	240°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	22.64	14.0	0.25	-	0.1	60	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②

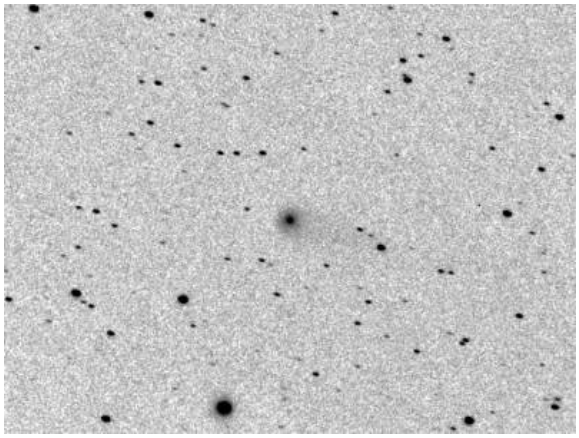
2025	UT	ml	Dia	DC	Tail	p.a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
3I/ATLAS (写真 d)											
Nov.	14.83	10.2	4.5′	−	0.2′	100°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	15.83	7.6	4.5	−	>7.0	295	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	16.83	9.1	4.5	−	>9.0	295	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	18.82	8.2	5.0	−	>11.0	295	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	18.84	10.1	2.7	−	−	−	−	−	EOS6D**	張替憲	⑥⑦⑳
	19.81	8.5	5.0	−	>10.0	290	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	20.80	8.4	5.0	−	>14.0	290	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	20.81	9.3	3.5	5	−	−	−	−	36×40-cmL	吉田誠一	⑨❽
	21.76	10.3	2.6	−	−	−	−	−	EOS6D**	張替憲	⑥⑦
	21.82	8.6	5.0	−	>8.0	290	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	22.81	8.5	5.0	−	>15.0	290	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	26.76	10.6	2.4	−	−	−	−	−	EOS6D**	張替憲	⑥⑦
	30.76	10.5	2.7	−	−	−	−	−	EOS6D**	張替憲	⑥⑦

＊ 40-cm F8.0（レデューサー使用 F6.5）リッチークレティアン反射＋FLI ML8300 (2x2 bin, -6℃)。
＊＊ 15-cm F4（レデューサー使用 F2.5）反射＋デジタル一眼 Canon EOS 6D。

① 観測地:長野県富士見町 五藤光学八ヶ岳観測所。② 光度、コマと尾の形状確認:10-20×60 秒露出スタック。③ 神奈川県三浦市・三崎口。④ 茨城県常陸大宮市・花立山自然公園の麓。⑤ tail Over frame ⑥ 15 cm F2.5 反射+Canon EOS6D の G 画像を Makali`i Ver1.4a と Guide9.1 にて測光。観測地は千葉県横芝光町の九十九里海岸。⑦ 露出 40 秒 (20 秒×2)。⑧ 強く集光した白いコマから北西に 10′ を越えるシャープな尾が伸びている。⑨ 筑波山・風返峠。⑩ 青く拡散している。⑪ narrow ion tail ⑫ through cloud ⑬ 露出 30 秒 (15 秒×2)。⑭ 青いコマは強い集光のある円盤状。わずか 24 分間で約 3′ も北東に移動している。⑮ コマは青く集光の弱い拡散状。⑯ 高度 4 度でも明るく明瞭で驚いた。⑰ コマは強く集光した白い円盤状。⑱ 集光があり、東西に伸びた楕円状に見える。⑲ 弱い集光があり不鮮明な B コマとともに子持ち銀河のように見える。⑳ 強く集光した白い円盤状。
❶ 尾がすらっと伸びて格好良い姿。❷ 薄雲であまり尾は見えなかったが、格好良い姿。❸ 明らかに細長い姿。尾がすらっと伸びて格好が良い。但し集光は弱く、崩壊した彗星の残骸のよう。3 個に分裂した核が見えないかと、257 倍に拡大してみたが、分裂核は分かなかった。❹ 大きな月のすぐ近くで見づらいが、薄雲が抜けると、大きく広がっていることが分かる。❺ 集光が弱く淡い。❻ かなり淡い。❼ 門田さんから 13 等台の報告があったので、狙ってみたが、見えなかった。❽ 初めて恒星間天体をこの目で見た！明るく大きい姿。見た目はふつうの彗星のように見える。

※ 全ての光度等観測は、次を参照。
https://www.comet-web.net/~oaa-comet-ml/comet_mag_report.htm

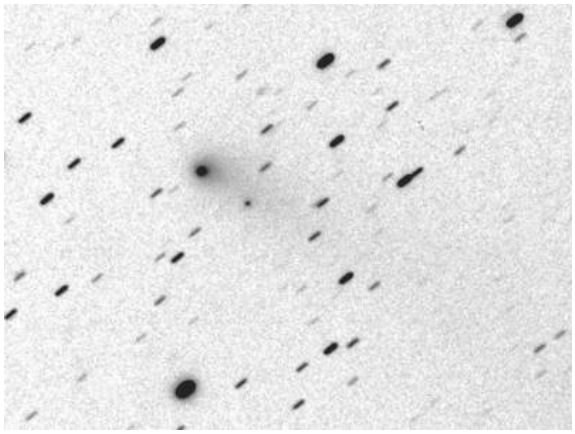
※ 光度等の観測報告は、佐藤裕久宛て e-mail : hirohisa-sato@hi-ho.ne.jp に送付ください。



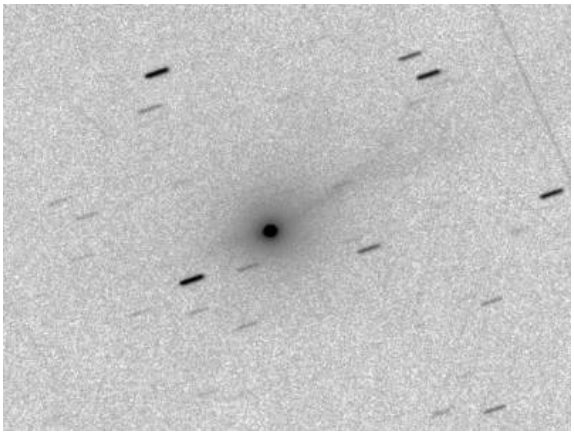
(写真 a) C/2022 N2 (PANSTARRS)
2025,11,15 20h29.6m-53.8m (JST)
exp.60s×24 TOA130 760-mm ASI 2600D
三重県名張市 田中利彦氏



(写真 b) C/2025 A6 (Lemmon)
2025,11,11 17h58.1m-18h08.3m (JST)
exp.30s×20 Sky90 500-mm 533MC
三重県名張市 田中利彦氏



(写真 c) 240P/NEAT
2025,11,23 01h08.7m-38.9m (JST)
exp.60s×30 Sky90 500-mm 533MC
三重県名張市 田中利彦氏



(写真 d) 3I/ATLAS
2025,11,16 05h06.4m-26.5m (JST)
exp.60s×20 TOA130 760-mm ASI 2600D
三重県名張市 田中利彦氏